

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

事業名 地高ICアクセス 一般県道 東与賀佐賀線 本庄工区	事業区分 地方道	事業主体 佐賀県			
起終点 自：佐賀県佐賀市東与賀町下古賀 至：佐賀県佐賀市本庄町鹿子		延長 2.0km			
事業概要 一般県道東与賀佐賀線は、地域高規格道路 有明海沿岸道路（大川佐賀道路）の東与賀IC（仮称）に接続する主要な幹線道路であり、バイパス整備により交通の円滑化と歩行者等の安全性の向上を図ることを目的とし、佐賀県佐賀市東与賀町下古賀から佐賀県佐賀市本庄町鹿子までの延長2.0kmを整備するものである。					
H23年度事業化	平成19年度都市計画決定	平成26年度用地着手	平成27年度工事着手		
全体事業費	約53億円	事業進捗率	約86%	供用済延長	— km
計画交通量	12,500～13,800台/日				
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 3.5 (残事業) 35.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 5.6/57億円 事業費：3.7/55億円 維持管理費：1.8/1.8億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 199/199億円 走行時間短縮便益：178/178億円 走行経費減少便益：18/18億円 交通事故減少便益：3.5/3.5億円	基準年 令和3年	
	感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=3.1～3.8 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=32.1～39.2 (交通量±10%) 事業費：B/C=3.2～3.9 (事業費±10%) 事業費：B/C=33.4～38.3 (事業費±10%) 事業期間：B/C=3.2～3.8 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=34.6～36.0 (事業期間±20%)				
事業の効果等 ・佐賀市中心市街地から東与賀IC（仮称）へのアクセス性の向上により、人流・物流の効率化に寄与する。 ・九州佐賀国際空港へのアクセス時間が短縮され、更なる利用促進につながる事が期待される。 ・バイパス整備による交通の転換により、現道の交通量が減少することで、安全性の向上が図られる。					
関係する地方公共団体等の意見 都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。					
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。					
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 周辺環境等に特に変化はない。					
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地進捗率約98%、事業進捗率約86%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、道路改良工事等を推進していく。					

施設の構造や工法の変更等

建設発生土の有効活用、新技術の積極的活用等により、コスト縮減を図る。

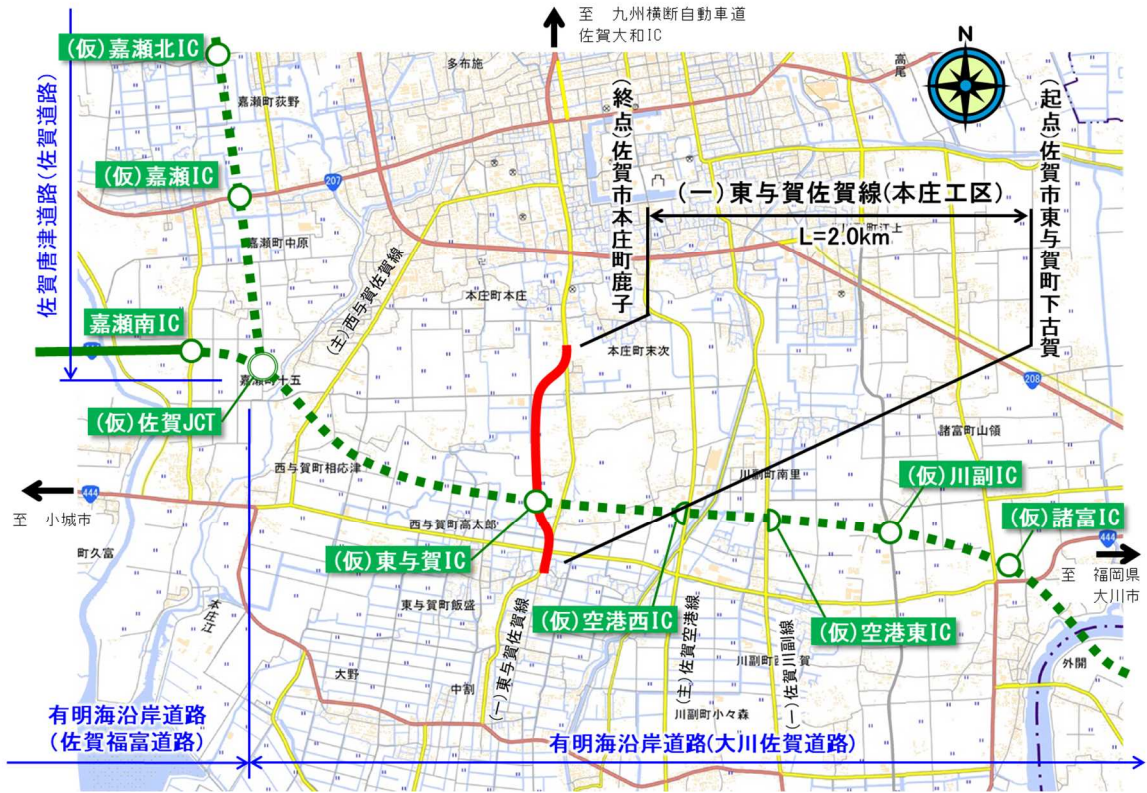
対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。